

令和6年度事業報告書

自：令和06年04月01日

至：令和07年03月31日

社会福祉法人守人会

令和6年度事業報告書目次

[illegible]

令和6年度法人事業報告

令和6年度は3年毎の介護報酬改正が4月1日から施行されたが、前回の令和3年4月改正時に口腔衛生や栄養ケアが強化され、3年間の経過措置期間後(令和6年4月)から現行の栄養士に加えて管理栄養士の配置が必須となり基本サービスとして、状態に応じた栄養管理の計画的な実施が求められていたが、管理栄養士を採用できず介護報酬が減算(減額)となった。担当者が法令や解釈通知等を正確に理解しないなど知識等の低下がみられた。

また、高齢者施設等における医療ニーズへの対応強化と協力医療機関との連携強化として、協力医療機関(在宅療養後方支援病院)が利用者の急変や感染症(新興感染症含む)の発生、災害発生時の支援などについて協力体制を締結していただき協定書を締結した。12月9日に退院して帰園したご利用者がコロナウィルスに罹患し、従来型特養で集団感染(クラスター)が発生し、ご利用者27名・職員11名が感染した。協定締結したにも関わらず職員間の情報共有がなされていなく、感染症発症時や感染制御等の対応に対する初期対応や指導・助言等を仰げなかった。組織としてのガバナンス体制の未熟さ(ご利用者・職員・地域社会等の立場を踏まえたうえで、透明・公正かつ迅速・果敢な意思決定を行うための仕組みや組織形態)が露呈する結果となった。

定款で定める社会福祉事業

種別	社会福祉事業等	事業所名
第1種社会福祉事業	特別養護老人ホームの経営	特別養護老人ホーム森林園(ユニット型含)
第2種社会福祉事業	老人デイサービス事業の経営	森林園デイサービスセンター
	老人短期入所事業の経営	森林園短期入所施設
	老人居宅介護等事業の経営	ヘルパーステーション森林園
	老人介護支援センターの経営	在宅介護支援センター森林園
公益事業	居宅介護支援の事業	居宅介護支援事業所森林園

※定款で定める公益事業の「居宅介護支援の事業」については、事業規模が小さく社会福祉事業と一体的に行われる事業又は社会福祉事業の用に供する施設の機能を活用して行う事業となっているため、居宅介護支援事業所森林園については、社会福祉事業として取扱いしている。

<令和6年度の役員・評議員など取組実績>

理事会は対面決議2回と新型コロナウイルス感染症のクラスター発生により書面同意1回の計3回開催した。評議員会は、定時評議員会を対面で1回実施した。評議員選任解任委員会は1回開催した。

評議員選任・解任委員会開催状況 定数：3名(外部委員1名・監事1名・事務局員1名)

開催年月日	審議事項等	出席者
令和6年 5月27日	審議事項 ・評議員の解任について(永眠者1名・非常勤職員就任者1名の解任) ・補充評議員の選任について	3名

評議員会開催状況 評議員定数：7名

開催年月日	審議事項等	出席者	立会理事・監事
令和6年 6月13日	審議事項 ・令和5年度事業報告の報告と計算書類等(決算)、財産目録承認の承認について	4名	理事1名 監事1名

開催年月日	審議事項	出席者	立会監事
令和6年 5月27日	審議事項 ・ 令和5年度事業報告承認の件 ・ 令和5年度計算書類(決算)承認の件 ・ 評議員2名辞任による補充候補者推薦の件(決議は評議員選任解任委員会) ・ 定時評議員会招集(開催日時)と議案の件 ・ 特定当座貸越融資(80,000千円)の再契約の件 ・ 賞与資金借入(18,000千円)の件	6名	2名
令和6年 12月18日 コロナウイルス ターにより書 面同意決議	審議事項 ・ 令和6年度中間決算承認の件 ・ 令和6年度第1次補正予算承認の件 ・ 賞与資金借入承認の件 ・ 委託給食会社契約更新承認の件 報告事項 ・ 通所介護事業車椅子対応機械浴槽入替(R6エイジングフレンドリー 間接補助金交付決定100万円)	書面同意 6名	異議確認 2名
令和7年 3月26日	審議事項 ・ 令和6年度第2次補正予算承認の件 ・ 令和7年度事業計画承認の件 ・ 令和7年度収支予算承認の件 報告事項 ・ 役員(理事・監事)、評議員、評議員選任解任委員会委員の改選	6名	2名

I. 地域における公益的な取り組み

社会福祉法人は、社会福祉法第24条第2項の規定により3つの要件全てを満たす事業(①社会福祉事業又は公益事業を行うにあたって提供される福祉サービスであること。②対象者が日常生活又は社会生活上の支援を必要とする者であること。③無料又は低額な料金で提供されること。)を実施する必要があり、当法人は以下の事業を実施した。

食品ロス支援活動(冷凍食品・規格外農産物、賞味期限が近い食品等の配布)

地域の生活困窮者支援として、生活保護受給者や成長期の児童がおり生活に困窮している世帯に、一般社団法人中央ライフ・サポートセンターの食品ロスを減らし社会貢献活動を推進する「新しい食品循環ネットワーク活動」として、冷凍食品・常温食品を届けました。

II. 補助金について

各種の補助金申請を行い、令和6年度で4,225,147円の補助金が交付された。

① 介護職員処遇改善支援補助金 1,186,147円(埼玉県福祉部)

介護職員の人材確保という喫緊の課題に対応するため、賃上げに必要な財政措置を早急に講じる観点から、令和6年2月から5月までの間、賃上げのための補助金が交付された。

② 埼玉県介護職員資格取得支援事業(実務者研修受講料)助成金 265,000円(埼玉県福祉部)
令和6年度で介護職員実務者研修を修了し、県内事業所で介護職員として従事した者に受講料支援として、1名につき受講料の1/2の費用を支援する助成金で、6名分交付された。

③ 外国人介護職員が長く働ける、魅力ある埼玉介護の促進補助金 1,774,000円(埼玉県福祉部)
埼玉県内の介護施設等に対し、介護福祉士資格取得を目指す外国人介護職員へ日本語学習支援(日本語講師による教育等)や教材の購入、日本語試験の受験料、外部研修や講習等への参加、介護福祉士国家試験対策の外部講師委託料、住居を借上げて外国人に提供している場合の共益費を含む住居費と通信環境費等について補助金が交付された。

④ エイジフレンドリー間接補助金 1,000,000円(日本労働安全衛生コンサルタント会)
60歳以上の高齢労働者が安全に働けるよう、身体機能の低下を補う設備・装置の導入その他の労働災害防止対策についての補助金で、重量物取扱いや介護作業における労働災害防止対策(腰痛予防対策)として

III. 資格取得支援制度

職員に対する資格取得支援制度として、下記の研修等に対する資格取得に対し支援をした。

研修や資格支援名	令和6年度	令和5年度	令和4年度
介護職員初任者研修			1名
介護職員実務者研修	6名	4名	7名
介護評価者(アセッサー)研修	0名	1名	1名
介護技能実習試験評価者講習	1名		1名
主任介護支援専門員研修		1名	
認知症基礎研修(無資格者必須研修)	1名	3名	
計	8名	9名	10名

外国人技能実習生の入国が予想を上回るペースで増加しており、一般社団法人シルバーサービス振興会から委託され、他法人の技能実習生の初級及び専門級評価試験の評価者として、令和6年度では、19事業所に初級29名・専門級19名の計48名に対し評価員を務めました。試験評価者の知見は技能実習の指導や外国人介護職員等への教育等にも生かすことができ、技能実習制度の正しい理解にもつながり、技能実習生の健全な育成と日本の介護サービスの質の維持・向上につながることであります。

VI. 職員の採用／退職状況(パート職員含む)

令和6年度の採用者は6名で、退職者は5名であった。

入職者：7名 介護職員4名、准看護師1名、栄養士1名、パート清掃員1名

退職者：5名 介護職員3名(介護福祉士2名・初任者終了1名)、パート清掃・洗濯2名

事業所別職種	特養・短期介護	ユニット型特養介護	その他職種	計
入職者	2名	2名	3名	7名
退職者	1名	2名	2名	5名

介護部門事業報告

1. 入居者の状況

- (1) 定員
- ① 特別養護老人ホーム（多床室） 定員 58名
 - ② 特別養護老人ホーム（ユニット） 定員 30名
 - ③ ショートステイ 定員 12名

(2) 特養入所者の年齢別男女構成分布 (令和7年3月31日現在)

年齢 \ 性別	男性（名）		女性（名）		計（名）
	多床室	ユニット	多床室	ユニット	
65歳～69歳	0	0	1	0	1
70～74歳	2	0	1	1	4
75～79歳	4	1	2	2	9
80～84歳	6	3	5	4	18
85～89歳	1	1	14	2	18
90歳以上	0	7	21	9	37
計	13	12	44	18	87

(3) 入所者の年齢構成 (令和7年3月31日現在)

年齢 \ 性別	男性（歳）		女性（歳）		計（歳）	
	多床室	ユニット	多床室	ユニット	多床室	ユニット
平均年齢	79	88.5	88.1	87.4	83.6	87.9
最高年齢	85	96	99	98	92	97
最低年齢	74	77	69	74	71.5	75.5

(4) 入所期間 (令和7年3月31日現在)

年齢 \ 性別	多床室		ユニット		計（名）
	男	女	男	女	
6カ月未満	1	9	0	5	15
6カ月～1年未満	3	6	2	2	13
1年～2年未満	1	4	3	4	12
2年～3年未満	3	3	4	5	15
3年～4年未満	0	3	0	0	3
4年～5年未満	1	7	0	0	8
5年～6年未満	1	2	2	0	5
6年～7年未満	0	0	1	0	1
7年～8年未満	0	5	0	0	5
8年～9年未満	2	3	0	0	5
9年～10年未満	0	1	2	0	3
10年以上	1	1	0	0	2
計	13	44	14	16	87

(5) 入所者の要介護度構成

(令和7年3月31日現在)

介護区分		要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	その他	計
性別	男性	2	1	3	5	2	0	13
	女性	0	0	12	23	9	0	44
ユニット	男性	0	0	7	4	1	0	12
	女性	0	0	8	4	6	0	18
計		2	1	30	36	18	0	87

(6) 保険者別入所状況

(令和7年3月31日現在)

保険者	入所者数	保険者	入所者数
滑川町	44	吉見町	4
東松山市	16	ときがわ町	3
嵐山町	13	東秩父村	1
小川町	2	東京都中野区	1
日高市	1	東京都北区	1
鶴ヶ島市	1	計	87名

(7) 死亡退所者の状況

死亡原因		従来型	ユニット型	計
入院	肺炎(誤嚥性肺炎含む)	5	0	5
	心疾患	1	0	1
	その他疾患	5	2	7

2. 生きがい活動

歌活動を通し、心身のリラックスや記憶力向上に繋げ、又ラジオ体操や口腔ケア体操を楽しみながら体を使って頂き、運動機能の低下や身体全体の機能低下予防を行いました。

天気の良い日には外気浴や施設周辺の散歩へ出かけています。

(施設内活動)

項目	内容
塗り絵	季節に合わせた塗り絵を行い施設の中でも季節を感じて頂ける様にした。皆様様々な色を使い個性豊かに行った。
カラオケ	歌う事は自立神経や血圧の安定を図れると共に、口を動かされる事で顎周辺の筋肉の強化や唾液分泌にもつながり誤嚥防止に役立てました。
口腔ケア体操	食事前に顔周辺の筋肉のマッサージを行い、唾液分泌を促すと共に発声を行う事で誤嚥防止を行いました。

(施設外活動)

項目	内容
散歩	施設内敷地にて散歩等歩行訓練や車椅子訓練を行いました。
外気浴	庭にて日光浴を行いながら軽度な体操や外気浴を行いました。

3. 行事

感染症の関係により外部からの受け入れを中止

4月	桜の飾りつけ	折り紙やきめこみの飾りつけを行い春の訪れを表現しました。
5月	鯉のぼりの飾りつけ	鯉のぼりの飾りつけを行っています。
	ドライブ	新緑の目に小川町・嵐山町・ときがわ町方面へドライブに出かけています。又雀川ダムにて景色を楽しみました。
6月	ドライブ	見晴の丘仙元台公園にドライブ。高台から景色を楽しみました。山間を向けてくる風が気持ちがいいとおっしゃっていました。
7月	七夕飾り	七夕飾りを作り、様々な思いを込めた短冊を飾りました。
	納涼祭	食事とお祭りの飾りつけで祭りの雰囲気づくりを行った。
8月	花火大会	夏の風物詩でもある花火を飲料水を飲まれながら楽しみました。置き型花火に豪快できれいだねと喜ばれていました。
9月	敬老会	祝者へ花束・プレゼントの贈呈を行い、花束に終始笑顔でした。
12月	クリスマス会	ツリーの飾りつけやプレゼントに大変喜ばれていました。
	餅つき	飾りつけ、お供えを行った。
1月	正月飾り	凧やお餅のお供え、福笑い等を飾りお正月を迎えました。
	新年会	お正月の飾りつけ等行い、新年のお祝いを行いました。
2月	節分	鬼役をつくり、お手玉を投げて節分を行いました。

その他、その月の誕生者には写真撮影後祝福し、季節のイベントに合わせた行事食を提供した。又、手作りカードを作りお渡した

4. ボランティア受入れ実績 なし

5. 介護体験実習・施設見学受け入れ実績

滑川ドリームプロジェクト：滑川中学生3名によるご利用者に見やすい日めくりカレンダーを作成。

6. 会議関係

会議名	内容	実施回数	構成員
各課責任者会議	施設運営に係る会議	毎月1回実施	施設長、各部署責任者
ケース会議	ケアプラン作成において半年毎のプラン見直しや介護度変更に伴う会議	検討が必要な場合は随時開催	介護職員、看護職員、栄養士、介護支援専門員、理学療法士・言語聴覚士・相談員
入所判定検討委員会	特養新規入所者及び入所申込者について順位決定	毎月1回実施	施設長、第3者委員、看護主任、介護支援専門員、相談員、介護主任
従来型特養職員会議 ユニット型特養職員会議	各部署の業務についての	毎月1回実施	介護支援専門員、介護職員、相談員
看護課会議	ご利用者の体調管理や業務について	毎月1回実施	看護職員・介護主任・介護支援専門員・相談員

・サービス担当者会議

ご利用者のサービス提供内容について、日常におけるサービス体制の向上に努めた。

(単位：人)

開催月	従来型特養利用者	ユニット型特養利用者	家族立会数
4月	7	3	感染対策により 0
5月	10	5	感染対策により 0
6月	10	5	感染対策により 0
7月	8	6	感染対策により 0
8月	7	4	感染対策により 0
9月	15	3	感染対策により 0
10月	7	5	感染対策により 0
11月	9	3	感染対策により 0
12月	6	4	感染対策により 0
1月	7	8	感染対策により 0
2月	9	7	感染対策により 0
3月	14	5	感染対策により 0
計	109人	58人	感染対策により 0

委員会報告

【衛生・感染症委員会】

主な内容

- ・産業医へ事業所内の確認や光量・温度・湿度への意見を頂く
- ・各部署感染症報告（主に肝炎や新型コロナウイルス等）
- ・県内にて発生している感染症の報告と注意発起
- ・感染症委員会においてマニュアルの更新の意見交換

4月：対面面会についての対策と実施時期について

5月：麻見江ホスピタル感染対策として来園訪問された看護師からの指示内容の報告

6月：感染症全般の研修

10月：新型コロナウイルス・インフルエンザ・ノロウイルス研修（資料閲覧）、居室設置消毒の交換

2月：感染症マニュアルの見直し

【吸引・褥瘡委員会】

実施頻度：1回／月（第3月曜日 15：00～）

職種：施設長、相談員、ケアマネージャー、栄養士、看護師、理学療法士、介護士

会議内容：吸引が必要なご利用者への吸引頻度や注意点の確認

- ① 褥瘡が発生している利用者様の状態報告、対応検討
- ② 褥瘡リスクがある利用者様への対応検討

<褥瘡発生件数>

22件／年（治癒：16件、治療中：5件、その他：3件）

※その他は治療中に退所 一人につき多部位あり

【事故対策・身体拘束廃止・虐待防止委員会】

実施頻度：1回／月（第2月曜日 15：00～）

職種：施設長、相談員、ケアマネージャー、看護師、理学療法士、介護士

会議内容：

- ① 先月に挙げた事故・ヒヤリハットについての報告と対策の再検討
- ② 事故リスクが見込まれるご利用者の対応検討
- ③ 身体拘束をしているご利用者の拘束解除について検討
- ④ 虐待に対する報告

<従来型 事故実績>

事故：96 件／年（県への報告：10 件） ヒヤリハット：104 件／年

事故内訳：転倒 22 件、転落 12 件、剥離 30 件、その他 5 件

<ユニット型 事故実績>

事故：件／年（県への報告：3 件）

ヒヤリハット：72 件／年

事故内訳：転倒 17 件、転落 16 件、剥離 1 件、落葉 1 件、その他 3 件

※事故の定義：利用者に何らかの実害があり処置や治療を要したもの（例外として、転倒・転落に関しては処置の有無に関わらず全て事故として扱う）

【生産性向上委員会】

実施回数：3 か月に 1 回

会議内容：利用者の安全及びケアの質の確保について、職員の負担軽減及び勤務状況への配慮
介護機器の点検、職員に対する研修

7. 施設内研修

書面にて資料を閲覧し、随時担当者が質疑応答を行いました。

月	内容	詳細
4 月	認知症・処遇について	認知症の種別やそのケア方法
6 月	感染症全般・新型コロナウイルス感染症	ウイルスや菌がどのような形で感染をしていくのか、又予防・対応方法について
8 月	身体拘束・虐待	身体拘束禁止規程や高齢者虐待に至ってしまう経緯、通報の義務と対応
10 月	感染症（新型コロナ・インフルエンザ等）の初動・感染症について・BCP 総則・BCP 訓練	感染症について又初動の動きの確認。 BCP 総則確認と簡易陰圧装置組立て訓練・段ボールでのごみ箱の作り方など実施
1 月	事故研修（誤薬・転倒等）	事故リスクについて学びました。
3 月	褥瘡について	褥瘡の原因と対応、栄養面について学びました
随時	事故予知	リスク者について、又リスク資料を元に検討しました。
随時	入浴事故研修	入浴事故リスク・防止について学びました。

8. ショートステイ

定員：12 名（四人室×3 部屋）

令和 6 年度の利用率

年月	実人数	月延べ人数	1 日平均数
4 月	13	289	9.7
5 月	15	309	10.1
6 月	12	228	7.6

7月	13	208	6.9
8月	14	305	9.8
9月	13	283	9.6
10月	12	241	8.4
11月	12	205	7.2
12月	11	177	5.7
1月	15	256	8.3
2月	15	253	9.0
3月	13	301	9.7

看護事業報告

年間の医療機関への受診は 388 件で、従来型特養 210 件、ユニット型特養 132 件、短期入所利用者 46 件でした。

○インフルエンザ：ご利用者 1 回実施（特養は全員実施。ショートステイ利用者は希望者のみ）

：職員 1 回実施（アレルギーなどの問題がない限り全職員実施）

○肺炎球菌ワクチン：高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種を希望により、接種実施しております。

栄養事業報告

1. 事業運営の概況

ご利用者の食事状況を見に行き、食事形態の確認や摂取量を確認を行いました。体重測定を定期的に行い、体重の増減を考慮し健康状態の改善・向上に努めました。

衛生管理の徹底に努め、害虫駆除やグリストラップ清掃を外部業者に依頼するとともに腸内細菌検査を実施し感染症対策を行いました。

新型コロナウイルスへの感染対策の徹底を昨年度に引き続き、委託業者や他職種と連携しながら行いました。感染症流行時にはディスポ食器を使用し感染対策を行いました。ディスポ食器の使用分の補充や非常食の入れ替えなど災害対策も引き続き行っています。

また、厨房機器の故障に関する修理の実施し、故障したスチームコンベクションオーブンの入替えを行いました。

2. 食事状況

季節に応じた行事食を起案し、食事を通してご利用者には四季を感じていただきました。

また、感染症対策のため、施設全体での行事やレクリエーションは行わず、各部署ごとに実施し感染予防に努めました。行事の催し物ができない分、食事内容やお品書きなどで食事や行事を楽しんでいただけるよう工夫しました。

(1) 行事食の実績

4月	おやつレク(喫茶)
5月	八十八夜 こどもの日 おやつレク(喫茶)
6月	おやつレク(喫茶)
7月	納涼祭 セタ 土用の丑 おやつレク(ソフトクリーム)
8月	おやつレク(ソフトクリーム)
9月	敬老会 十五夜
10月	ハロウィン

1 1 月	おやつレク (焼き芋)
1 2 月	クリスマス 年越しそば
1 月	おせち 新年会
2 月	節分 バレンタイン おやつレク (焼き芋)
3 月	ひなまつり

(2) 選択食の実績

4 月	焼き鳥丼 ・ 豚ニラ丼
5 月	ビビンバ丼 ・ スタミナ丼
6 月	そばろ丼 ・ 焼肉丼
8 月	豚キムチ丼 ・ 焼き鳥丼
9 月	スタミナ丼 ・ 親子丼
1 0 月	豚キムチ丼 ・ 焼き鳥丼
1 1 月	ネギ塩豚丼 ・ 豚の照り焼き丼
1 2 月	豚キムチ丼 ・ そばろ丼
1 月	スタミナ丼 ・ 焼き鳥丼
2 月	親子丼 ・ ネギ塩豚丼
3 月	そばろ丼 ・ 豚キムチ丼

地域密着型通所介護事業報告

基本事項

地域密着型 (滑川町住居者のみ利用可能)

1 日定員 : 18 名

事業内容 : 通所介護事業、介護予防通所介護、総合事業

送迎範囲 : 滑川町全域

営業日 : 月曜日～土曜日 (ただし 1 月 1 日～1 月 3 日までは除く)

サービス提供時間 : 10 時～16 時

令和 6 年度利用実績は、利用率 98.67%、平均利用者数 17.76 人となりました。

1. 年間行事実施状況

4 月	牡丹・藤の花見 (箭弓神社)。
5 月	バラの花見 (平成の森)。
6 月	ボデチア・菖蒲・紫陽花の花見 (各方面)。
7 月	納涼祭 (射的・ヨーヨーすくい・輪投げ等) 行事食も提供。
9 月	敬老会 (職員によるダンス・参加型企画等) 祝者にプレゼント。
10 月	コスモスの花見 (吹上コスモスアリーナ)。
11 月	さつま芋ほり・滑川町作品展見学。
12 月	紅葉 (川本農林公園)。
1 月	初詣 (箭弓神社)。
3 月	梅の花見 (生越梅林)。

*感染症対策が困難な為、外食は実施出来ていないが他行事については、法人としての全体行事を除いて新型コロナウイルス発生前の状態になる。

2. デイサービスでの活動（趣味活動・作業・レクリエーション・運動）

項目	内容
塗り絵 漢字プリント 計算プリント 脳トレプリント 読書	景色や季節の花ぬりえ、難読漢字プリント、計算プリント、なぞなぞ、クロスワード、ナンプレ、頓智、迷路、間違い探し等脳トレプリントをご自分に合った物を選択して頂き行う。実施後、職員が採点、評価を行う事で達成感も得られ意欲的に行っている。中々進まない方には職員と一緒にいき楽しんで頂いている。
趣味活動 知恵の輪 トランプ	趣味活動として、将棋・囲碁・オセロ等出来る方は職員と楽しみながら頭の運動を行った。最近ではトランプの輪が広がり楽しまれている。知恵の輪やパズルも人気があり時間があると手に取り行われる。
カラオケ	カラオケを楽しみに来られる方も多く、機能訓練後の時間や他の方が入浴されている間にカラオケを練習され、午後のカラオケの時間では練習した歌を披露し楽しまれている。
レクリエーション	毎日、その日の様子や介護度に合わせ楽しめるレクリエーションを提供。感染症対策としてマスクは着用しているが、他の制限は緩和した為以前よりも沢山の種類のレクを行い。チーム対抗のレクは毎回盛り上がりを見せている。
体操	全体での体操として食前に嚥下体操実施（パタカラ・口腔体操等）。
個別機能訓練	体幹、柔軟体操。平行棒、階段、段差等歩行訓練、洗濯、洗い物、畑作業等プランに沿って個別に機能訓練を実施。
制作活動	各月作品作り。出来る作業を分担し行い季節を感じられる様な飾りを作成、記念写真を撮りお誕生日カードに添えてプレゼント行い好評頂いた。

3. 会議・委員会活動

会議・委員会名	内容
事故対策委員会	各部署事故報告行い。検討が必要なケースについて話し合いを行う。
衛生委員会	各部署の感染症報告や今後の対策等話し合う。新型コロナウイルス5類に変更後の対応等の検討。BCPの見直し。
給食委員会	食事提供について委託業者を交え、各部署問題点の報告や要望等の話し合いを行った。
リーダー会議	各会議の報告や申し送り報告事項等。
通所会議	通所での問題、改善策について話し合い情報の共有を図る。サービスの質の向上や問題点等について話し合いを行う。今年度の会議では入浴介助の機械変更による問題点、効率化等。又、利用率の向上、維持の為に休まれない様にする対策等の検討を行った。
ケース会議	ご利用者の状態、ケアの変更等について。又、事故防止の為、注意点等個別のケースについて情報の共有を図り事故防止に努めている。各利用者について意見交換や情報の共有を図りより良いケアを検討。利用者の入れ替わりも多く新規利用者の対応について等話し合いを行う。
行事会議	全体での行事はなく各部署で実施している。
担当者会議	新規契約、プラン変更、更新時等に開催
運営推進会議	おおむね6か月に一回開催。提供しているサービスの内容を明らかにすることでサービスの質を確保し、地域との連携を図る。

4. 施設内研修

新型コロナウイルス感染症5類変更後、施設内での感染等を考慮しながら感染対策を実施したうえで通常の対面研修を行った。各種事故・入浴事故についてはケース会議や入浴時等にリスクについて協議し対応。

月	項目
4月	認知症・処遇について
6月	感染症全・コロナウイルスについて
8月	身体拘束・虐待について
10月	感染症全般・コロナウイルスについて、BCP訓練
1月	誤薬・転倒等の事故について
3月	褥瘡について
随時	各種事故・入浴事故について

5. 総論

職員の知識、技術向上、事故防止、については通所会議や研修を通して個別のケースについて検討する事で事故無くサービス提供が来ている。

感染対策については、各種感染症について標準予防を行い感染対策する。今回、角化型疥癬の通所での広がりが見られたが診断が出なかった為に対応が遅れてしまった。今回の事を踏まえ受診後も経過の観察、場合によっては対策を講じる等対応していきます。

実績、利用率については令和5年度利用率99.25%、平均利用者数17.9人。令和6年度利用率98.67%、平均利用者数17.76人。入所やショート利用への変更等多いが、新規利用の受け入れ、追加利用、空き利用等柔軟な対応を行い実績維持が図れた。

訪問介護事業報告

【研修・会議等】

- 令和6年 5月 ・居宅介護支援研修 BCP：感染症編（座学・実技）実施
6月 ・施設内研修（虐待・身体拘束について）
7月 ・施設内研修（災害・BCP座学）
・ヘルパー会議（7/15 7/17）実施
感染予防実技・感染症発生時に業務継続するための対策
ご利用者様の状態把握と情報共有
8月 ・居宅介護支援研修：BCP（自然災害）における実地訓練 実施
9月 ・施設内研修（感染症と食中毒について）
11月 ・施設内研修（褥瘡について）
・外部研修〔嵐山町役場町民ホール〕嵐山町地域ケア会議事業者連絡会合同研修会
令和7年 2月 ・施設内研修（事故予防対策：睡眠薬と転倒、危険性について）

【その他】

- 3月 ・利用者様へのアンケート調査実施
・サービス担当者会議：31回/年間
・サービス担当者に対する照会（依頼）：日程調整が困難な為書面にて内容の提出：14回/年間

令和6年度訪問介護アンケート調査結果		はい		どちらとも いいない		いいえ		無回答	
1	ヘルパーは気持ちを確かしながら支援してくれる。	25	96%	1	4%	0	0%	0	0%
2	ヘルパーからの言葉や態度で嫌な思いをした事がある。	4	15%	2	8%	20	77%	0	0%
3	ヘルパーは私の話を親身になって聞いてくれる。	25	95%	1	4%	0	0%	0	0%
4	森林園のヘルパーに対して安心感がある。	26	100%	0	0%	0	0%	0	0%
5	森林園のヘルパーに自分の意見を言いにくい。	0	0%	6	23%	20	77%	0	0%
6	ヘルパーは家の物を使って、元の所に戻さないことがある。	2	8%	1	4%	23	88%	0	0%
7	ヘルパーが時間に遅れたり、予定変更を連絡しない事がある。	0	0%	1	4%	24	92%	1	4%
8	ヘルパーから立ち入った事を聞かれて、嫌な思いをした事がある。	0	0%	1	4%	25	96%	0	0%
9	ヘルパーから他の家の話を、聞いたことがある。	1	4%	1	4%	23	88%	1	4%
10	事業所は、私の家でする仕事を書いた書類（訪問介護計画書）を説明してくれた。	22	85%	0	0%	3	11%	1	4%

アンケート結果からは、配布数31枚に対して返送26枚、回収率84%。結果としては2の項目の「ヘルパーの言葉や態度で嫌な思いをした事がある」に対して「はい」15%「どちらともいいない」8%で、5の項目「ヘルパーに自分の意見を言いにくい」が「どちらともいいない」23%という結果に繋がっていると考えられます。4の項目の「森林園のヘルパーに対して安心感がある」では100%の支持率であった。

居宅介護支援事業所

1. 運営状況

主任介護支援専門員（1名：管理者兼務）、介護支援専門員（1名：非常勤）にて運営。

（1）介護予防サービス計画作成数（総合事業対象者、要支援1～2）

月	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10
件数	9	10	11	12	11	11	10
月	R6.11	R6.12	R7.1	R7.2	R7.3	合計件数	
件数	9	10	10	8	8	119	

（2）居宅介護サービス計画作成数（要介護1～5）

月	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10
件数	43	43	40	38	41	40	41
月	R6.11	R6.12	R7.1	R7.2	R7.3	合計件数	
件数	40	42	41	45	45	499	

2. 利用状況内訳

(1) 性別、年齢別、要介護度別内訳（総合事業対象者、要支援1～2） ※年度末時点での実年齢で集計

		総合事業対象者	要支援1	要支援2	合計
69歳以下	男	0	0	0	1
	女	0	0	1	
70～79歳	男	0	2	0	2
	女	0	0	0	
80～89歳	男	1	0	1	3
	女	0	0	1	
90～99歳	男	0	0	0	2
	女	0	0	2	
100歳以上	男	0	0	0	0
	女	0	0	0	
合計		1	2	5	8

(2) 性別、年齢別、要介護度別内訳（要介護1～5） ※年度末時点での実年齢で集計

		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
69歳以下	男	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	
70～79歳	男	3	0	1	1	0	11
	女	2	2	0	1	1	
80～89歳	男	3	2	2	0	0	23
	女	8	6	0	2	0	
90～99歳	男	1	0	1	0	0	9
	女	2	3	2	0	0	
100歳以上	男	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	
合計		19	13	6	4	1	43

3. 研修状況

月	場所	内容
令和6年4月	森林園	介護支援専門員としての倫理について
5月	居宅いづみ	滑川町ケアマネ情報交換会
	森林園	BCP(感染症)について
6月	森林園(オンライン)	介護支援専門員 スキルアップ研修
	森林園	身体拘束について(施設内研修)
	居宅いづみ	滑川町ケアマネ情報交換会
7月	東松山市民文化センター	比企地区 多職種連携
	森林園	災害に備えた研修(施設内研修)
8月	森林園(オンライン)	主任介護支援専門員 スキルアップ研修
	森林園(オンライン)	介護支援専門員 スキルアップ研修

	森林園 森林園	滑川町ケアマネ情報交換会 BCP(自然災害)について
9月	森林園 (オンライン) 森林園 居宅いづみ	介護支援専門員 レベルアップ研修 感染症・食中毒について (施設内研修) 滑川町ケアマネ情報交換会
11月	森林園 (オンライン) 森林園 森林園 (オンライン)	介護支援専門員 レベルアップ研修 褥瘡について (施設内研修) 医療・介護・福祉の連携に関する研修 (埼玉県医師会・埼玉県主催)
令和7年2月	森林園 森林園	滑川町ケアマネ情報交換会 睡眠薬と転倒について (施設内研修)
3月	森林園 (オンライン)	シャローム病院在宅緩和ケア講演会 (シャローム病院主催)

4. 地域ケア会議

月	開催場所	内容
毎月12回	滑川町役場	地域ケア推進会議

5. アンケート結果

- (1) サービス内容や事務手続きなどケアマネジャーの説明はわかりやすいですか？
① はい：39件 (100%)
- (2) 話し合いや会議の内容について満足されていますか？
① はい：39件 (100%)
- (3) ケアマネジャーは個人情報の保護に努めていると感じますか？
① はい：38件 (97%) ③ いいえ：1件 (3%)
- (4) サービス内容の変更や急な出来事が起こったときなど、ケアマネジャーはこころよく対応してくれますか？
① はい：39件 (100%)
- (5) ケアマネジャーは毎月の訪問を行っていますか？
① はい：39件 (100%)
- (6) ケアプランの内容に満足していますか？
① はい：38件 (97%) ② どちらでもない：1件 (3%)
- (7) ケアマネジャーは困りごとに対してサービスの提案やアドバイスなどしてくれますか？
① はい：39件 (100%)
- (8) ケアマネジャーを変更したいと思ったことはありますか？
① いいえ：39件 (100%)
- (9) ご回答・ご記入いただいた方はどなたですか？
② ご本人：24件 ② ご家族：15件

6. 総括

③ 令和6年度の新規利用者：18件

内訳 (①病院：1件 ②地域包括支援センター：3件 ③家族：12件 ④他事業所：2件)

※令和 6 年度末にて滑川町社会福祉協議会の居宅介護支援事業所の閉鎖があり 2 件の継続依頼を受けた。

④ 令和 6 年度の終了者：18 件

内訳 (①自立：2 件 ②入院・入所：13 件 ③死亡：3 件)

《目標に対して》

- ① アンケート結果において、高い評価を得られている。ただし、今回の結果の中で、個人情報保護に努めていると感じられない。という意見が 1 件見られた。再度、秘密保持義務の重要性を理解し行く必要がある。
- ② 医療と介護の連携においては、令和 6 年度の介護保険法改正においても、居宅介護支援事業所における（入院時情報連携加算Ⅰ、Ⅱ）の入院時の病院への情報提供の日数の変更があったことから考えられるように、迅速な連携が必要となってきた。森林園では、この加算の取得率からみても医療機関との連携をはかれている。また、公正中立の観点においては、滑川町に資源が少ないことから自法人の紹介率が高くなってしまいう事には変わりなく、特定事業所集中減算届において、滑川町へ正当な理由として提出を行っている。
- ③ 初回アセスメント時や介護サービス見直し時などに、滑川町の介護保険制度のパンフレットを用いて説明を行っている。
- ④ 地域ケア会議を通して、行政からの情報提供や他事業所間での連携は図れている。また、月 1 回の滑川町ケアマネ情報交換会を開催し、他事業所間での近況報告やサービス内容の情報交換など行った。

在宅介護支援センター事業報告

滑川町全地域を対象とし、ご本人やご家族、地域の方々が安心して生活ができるよう多職種・他機関との報告・連絡・相談を密に連携をとりながら支援しました。又、24 時間体制の窓口を持つ総合窓口としての機能を果たせるよう取り組みました。

令和 6 年度の相談件数は 146 件で、要介護者 84 件、要支援者 37 件、非該当 23 件、その他 2 件で、訪問相談が 118 件、電話相談 26 件、その他 2 件でした。

<家族介護教室>

高齢者の介護で悩む家族や今後介護をする可能性のある家族に、介護保険の制度やサービスの利用方法、身体介護の方法や認知症介護等を知っていただき、介護力を身につけられるように支援しました。また、介護者教室に参加することで、介護に対しての不安や悩みをもつ仲間同士の交流とリフレッシュの機会を作り、介護家族の孤立を防止する役割を果たしました。

<認知症サポーター養成講座>

認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対して手助けする「認知症サポーター」を養成し、認知症高齢者等にやさしい地域づくりに取り組みました。

<高齢者のこころの相談>

認知症サポート医による専門相談を月 1 回 1 件当たり 30～60 分程度の時間で実施しました。対象は、滑川町在住 65 歳以上の方、高齢者介護にあたっている家族になります。

<滑川町高齢者福祉事業検討委員会>

町の高齢者事業に関し、滑川町高齢者福祉検討委員会に出席し検討、審議を行いました。

- ・長寿ふれあい温泉入浴補助事業
- ・移動販売事業
- ・高齢者補聴器購入費助成金交付事業
- ・敬老年金支給事業
- ・一世紀長寿祝い金支給事業
- ・紙おむつ給付事業
- ・ねたきり老人等手当支給事業
- ・緊急通報システム事業
- ・救急医療情報キット配布事業
- ・認知症高齢者等見守りシール交付事業